

食品リサイクルサロン No.11 “四谷カフェ Vol.9”



食品リサイクルにおける 行政の役割を考える

～ 推進力としての行政の関わり方 ～

講 師：農林水産省食料産業局バイオマス循環資源課
食品産業環境対策室 課長補佐 大島 次郎氏

法施行後 10 余年が経過しましたが、対前年比で減少したとはいえ食品廃棄物発生量は約 2000 万トンもあり、リサイクル率も 84%と一見高率に見えますが、業種別実施率では殆どの業種で目標達成できていません。

背景にある問題は、一般市民の低関心やリサイクルに関わりのある農業者や廃棄物業者の脆弱な体質もありますが、自治体による一般廃棄物の扱い、積み残された家庭生ゴミの処理など、いずれも古くて新しいものばかりです。現在、食品リサイクル法の見直しが鋭意進められ、商習慣の見直しなど新しい動きも出ています。“新酒には新しい袋を”という諺がありますが、リサイクルの進んだ社会(新酒)にはそれにあつた社会制度や法制度(袋)があるはずで、リサイクルにおける行政の果たす役割は大きいものがあると思われます。一般市民としてその役割を理解し、新しい“袋”の実現に向けたサポートを通して、食品リサイクルを進めていきましょう。



2013年 10月31日(木) 14:00～16:00

会 場 ■ 主婦連合会・会議室 (千代田区六番町15)

JR、東京メトロとも四ツ谷駅から徒歩3分 プラザエフ3階

参加費 ■ **無料**

(ホットコーヒー：無料サービス)

食品リサイクルループで生産された農畜製品の試食を予定しています。学びの後は、食品リサイクルを実感しましょう。

お申し込み ■ 主婦連合会 TEL **03-3265-8121**

E-mail info@shufuren.net

主 催 ■ 公益財団法人有機質資源再生センター
協 力 ■ 一般社団法人中央畜産会、主婦連合会、日報ビジネス(株)